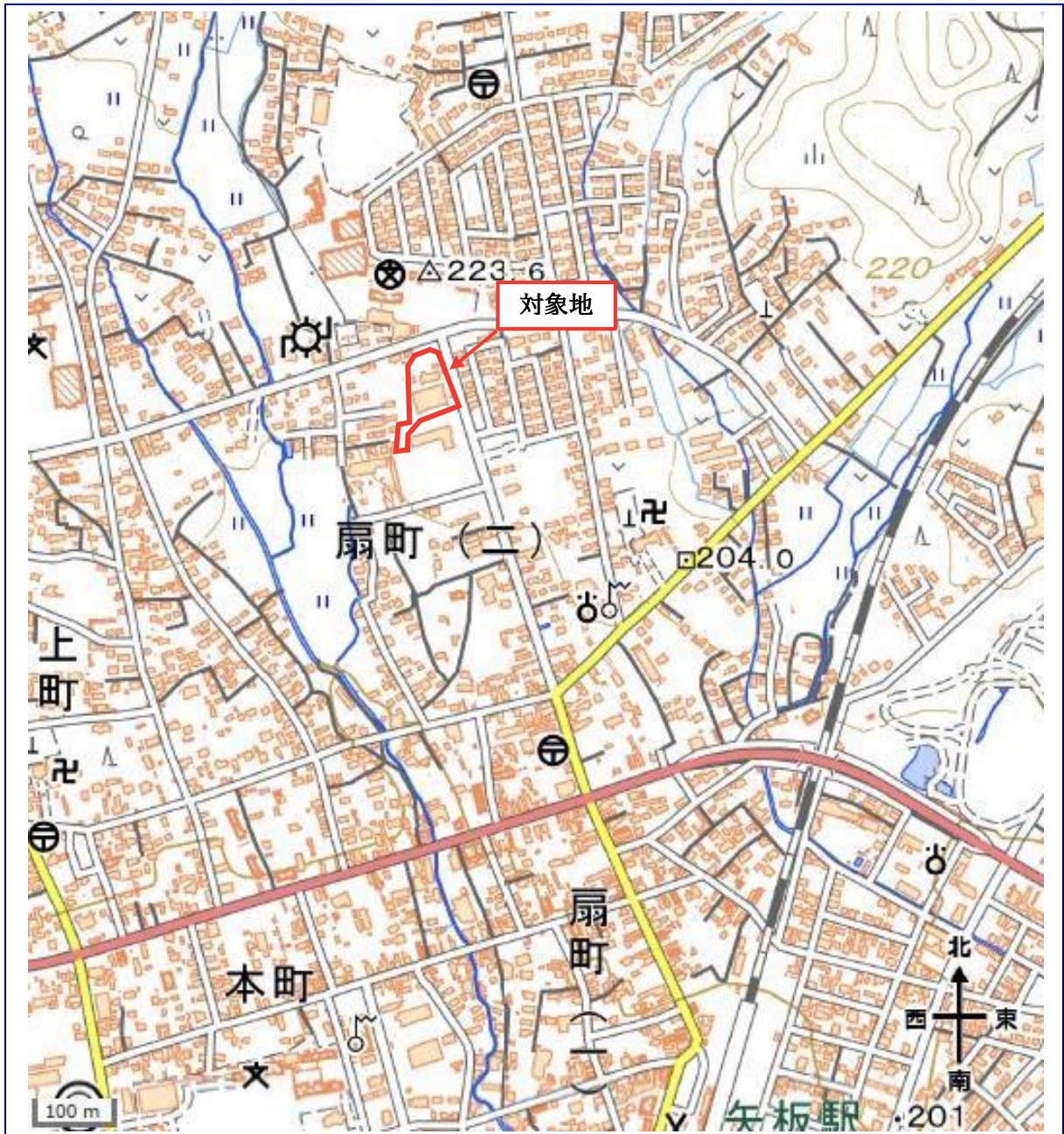


整理番号	令-5-2	指定年月日・指定番号	令和5(2023)年5月30日 要-25	所在地	矢板市扇町二丁目1519番23の一部	
調製・訂正年月日	令和5(2023)年5月30日調製					
要措置区域の概況	工場跡地			面積	100 m <sup>2</sup>	
地下水汚染の有無(土壌溶出量基準不適合の場合)				有・ <u>無</u>		
法第14条第3項の規定に基づき指定された要措置区域にあっては、その旨				-		
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあっては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類				-		
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された要措置区域にあっては、その旨及び当該省略の理由				-		
要措置区域内の 土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	令和5(2023)年 3月9日	六価クロム化合物		含有量基準・ <u>溶出量基準</u> ・第二溶出量基準		(株)フィールド・パートナーズ
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変 更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

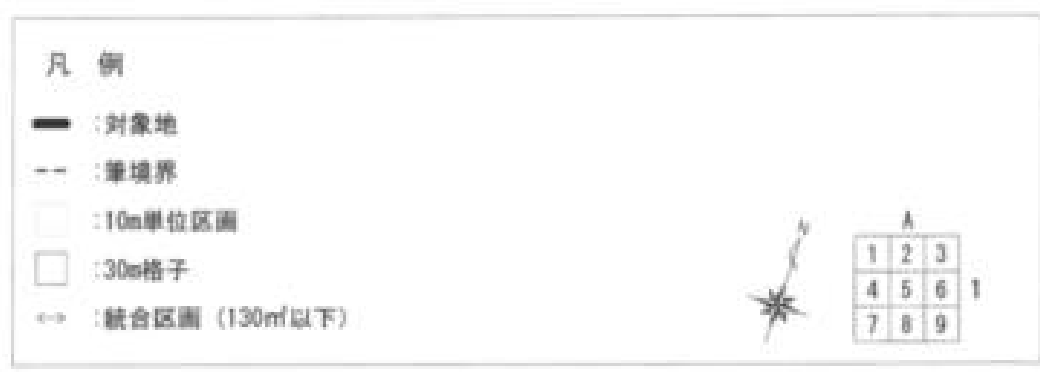
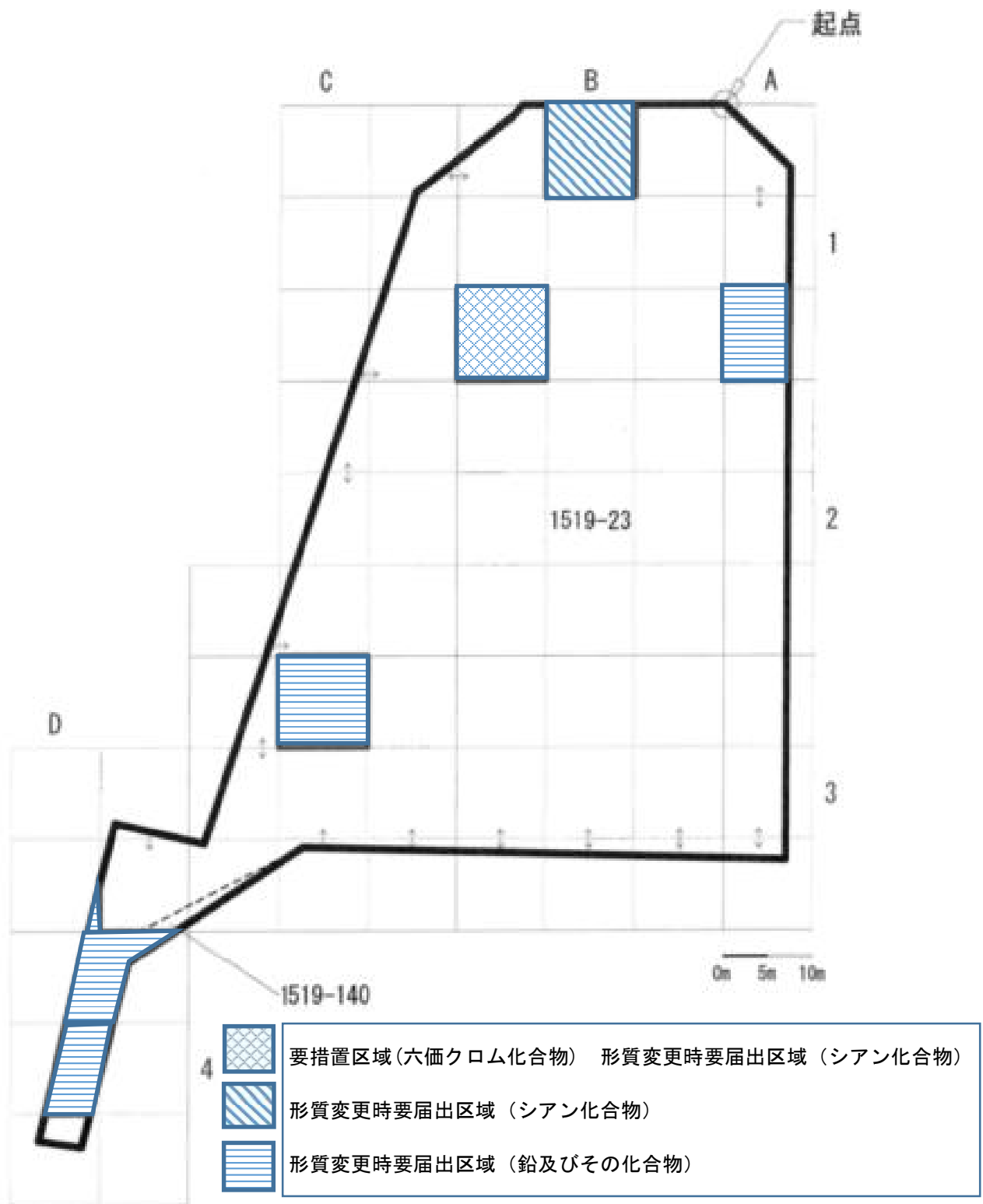
備考2 「要措置区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。

対象地位置図



出典：地理院地図

(<http://maps.gsi.go.jp/>)



凡例

【第一種特定有害物質】

十 土壤ガス調査地点：26地点

【第二種特定有害物質 (Se, B以外)・有機りん】

● 表層単地点分析：20地点

○ ピット下・旧表土調査地点：14地点

□ ポーリング調査地点：4地点

六価クロム化合物溶出量基準不適合区画  
(溶出量基準：0.05mg/L以下)

シアン化合物溶出量基準不適合区画  
(溶出量基準：検出されないこと)

鉛含有量基準不適合区画  
(含有量基準：150mg/kg以下)

統合区画 (130㎡以下)

調査対象地

既存建物

過去建物

ピット (既存建物)

ピット (過去建物)

架空配管

埋設配管

盛土想定範囲



A	1	2	3
	4	5	6
	7	8	9

起点



B1-2 シアン化合物 (溶出量)

深度	表層	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	5.5m	地下水
<	<	<	<	<	<	<	<	<

B1-7 六価クロム化合物・シアン化合物 (含有量)

深度	表層	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	5.5m	地下水
<	<	<	<	<	<	<	<	<

B2-5 テトラクロロエチレン (トリクロロエチレン/トリクロロフルオロエチレン)

深度	クロロエチレン	トリクロロエチレン	トリクロロフルオロエチレン
0.5m	<	<	<
1.0m	<	<	0.005mg/L
2.0m	<	<	0.007mg/L
3.0m	<	<	<
4.0m	<	<	<
4.8m	<	<	<
地下水	0.0072mg/L	<	0.007mg/L

B2-5 テトラクロロエチレン (土壌ガス)

0.1volppm
-----------

A1-7 鉛 (含有量)

深度	表層	1.0m	2.0m
27mg/kg	27mg/kg	27mg/kg	27mg/kg

D4-5 鉛 (含有量)

深度	表層	1.0m	2.0m
110mg/kg	110mg/kg	110mg/kg	110mg/kg

D4-3 鉛 (含有量)

深度	表層	1.0m	2.0m	3.0m	4.0m	5.0m	6.0m	6.2m
<	<	<	<	<	<	<	<	<

【動体境界、建物・設備形状の掲載資料】

Ver.1.0 敷地形状は地籍測量図、建物形状は現地測量に基づいた。

プロジェクト名 株式会社フィールド・パートナーズ

タイトル 栃木県矢板市岡町2丁目敷地における土壌汚染状況調査

スケール 1/800 (A4)

図説 既往土壌調査結果図

図号 巻末図ー1

凡 例

【テトラクロロエチレン、トリクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,2-ジクロロエチレン、1,1-ジクロロエチレン、クロロエチレン、ベンゼン】

+ 土壌ガス調査地点：12地点

【土壌汚染のおそれの区分の種類】

- 土壌汚染が存在するおそれが比較的  
多いと認められる土地
- 土壌汚染が存在するおそれが  
少ないと認められる土地

--- 土壌汚染が存在するおそれが比較的  
多いと認められる埋設配管

既往土壌調査地点

【第一種特定有害物質】

- + 土壌ガス調査地点：26地点
- 表層単地点分析：20地点
- ピット下・旧表土調査地点：14地点
- ボーリング調査地点：4地点

← 結合区画（130㎡以下）

- 調査対象地
- 既存建物
- 過去建物
- ピット（既存建物）
- ピット（過去建物）
- 架空配管
- 埋設配管
- 盛土想定範囲



A	1	2	3
B	4	5	6
C	7	8	9

起点



深度	クロロエチレン	1,1,1-トリクロロエタン	1,2-ジクロロエタン	トリクロロエチレン	テトラクロロエチレン
表層	<	<	<	<	<
0.5m	<	<	<	<	0.005mg/L
1.0m	<	<	<	<	0.007mg/L
2.0m	<	<	<	<	<
3.0m	<	<	<	<	<
4.0m	<	<	<	<	<
4.8m	<	<	<	<	<
地下水	0.0012mg/L	<	<	<	0.005mg/L

B2-5  
テトラクロロエチレン  
(土壌ガス)  
0.1mg/L

【敷地境界、建物・設備形状の根拠資料】

Ver.1.0 敷地形状は地探測調査、建物形状は現地測量に基づいた。

プロジェクト名

栃木県矢板市扇町2丁目敷地における土壌汚染状況調査

スケール

1/800(A4)

タイトル

表層調査地点図 (PCE、TCE、MC、1,1DCE、1,2DCE、0E、BZ)

株式会社フィールド・パートナーズ

図章  
巻末図一3

凡 例

【カドミウム、油分】  
表層土壌調査地点

● 単地点分析：6地点

⊕ 5地点均等混合法：10エリア  
(32地点)

○ 配管下地点：4地点

○ ピット下地点：6地点

【土壌汚染のおそれの区分の種類】

■ 土壌汚染が存在するおそれが比較的  
多いと認められる土地

□ 土壌汚染が存在するおそれが  
少ないと認められる土地

— 土壌汚染が存在するおそれが比較的  
多いと認められる架空配管

--- 土壌汚染が存在するおそれが比較的  
多いと認められる埋設配管

既往土壌調査地点

【第一種特定有害物質】

⊕ 土壌ガス調査地点：26地点

【第二種特定有害物質 (Se, B以外)・有機りん】

● 表層単地点分析：20地点

○ ピット下・旧表土調査地点：14地点

□ ボーリング調査地点：4地点

統合区画 (130㎡以下)

□ 調査対象地

■ 既存建物

■ 過去建物

■ ピット (既存建物)

■ ピット (過去建物)

— 架空配管

--- 埋設配管

□ 盛土想定範囲



※B1-7②はピット下として2深度調査

起点



【敷地境界、建物・設備形状の参照資料】  
Ver. 1.0 敷地形状は地籍測量図、建物形状は現地測量に基づいた。

プロジェクト名

栃木県矢板市扇町2丁目敷地における土壌汚染状況調査

スケール

1/800 (A4)

タイトル

表層調査地点図 (カドミウム、油分)

巻末図ー3

株式会社フィールド・パートナーズ

起点



B1-7	
六価クロム化合物 (濃度)	
表層	<
1.0m	<
2.0m	<
3.0m	<
4.0m	<
5.0m	<
地下水	<

※B1-7②は配管下、ピット下として、B2-1③は配管下として2深度調査

凡例

【六価クロム、油分】  
表層土壌調査地点

- 単地点分析：10地点
- ⊕ 5地点均等混合法：10エリア (30地点)
- 配管下地点：8地点
- ピット下地点：7地点

【土壌汚染のおそれの区分の分類】

- 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる土地
- 土壌汚染が存在するおそれが少ないと認められる土地
- 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる架空配管
- - 土壌汚染が存在するおそれが比較的多いと認められる埋設配管

既往土壌調査地点

【第一種特定有害物質】

⊕ 土壌ガス調査地点：26地点

【第二種特定有害物質 (Se, B以外)・有機りん】

- 表層単地点分析：20地点
- ピット下・旧表土調査地点：14地点
- ポーリング調査地点：4地点

六価クロム化合物溶出基準不適合区画 (溶出量基準:0.05mg/L以下)

- ↔ 統合区画 (130㎡以下)
- 調査対象地
- 既存建物
- 過去建物
- ピット (既存建物)
- ピット (過去建物)
- 架空配管
- - 埋設配管
- 盛土想定範囲



A	1	2	3
B	4	5	6
C	7	8	9

【敷地境界、建物・近隣形状の根拠資料】

Ver. 1.0 敷地形状は地積測量図、建物形状は現地測量に基づいた。

プロジェクト名

栃木県矢板市扇町2丁目敷地における土壌汚染状況調査

スケール

1/800 (A4)

株式会社ワールド・パートナーズ

表層調査地点図 (六価クロム、油分)

巻末図ー3



排水機	0.75G

車	



株式会社フィールド・パートナーズ











































